

第3回公認心理師試験

解答入力結果分析

2021/01/14

プロロゴス

第3回公認心理師試験のプロログスの解答入力フォームに解答をご入力いただいた皆様ありがとうございました。入力いただいたデータを元に、今回の試験について分析しました。

1. データについて

使用したデータは1/11 14:49 時点の956件で、そのうちデータ入力がきちんとなされていないもの（例えば複数選択のものを一つも複数選択していない、や2問分だけ入力されたもの）を除いた938件を対象とした。

また、この分析はプロログスで作成した解答速報が正解と「想定して」作成している。ただし、現在プロログスの作成した速報のうち数問は解答が不明であり、あくまでも目安としての分析となる。

2. 全体の得点について

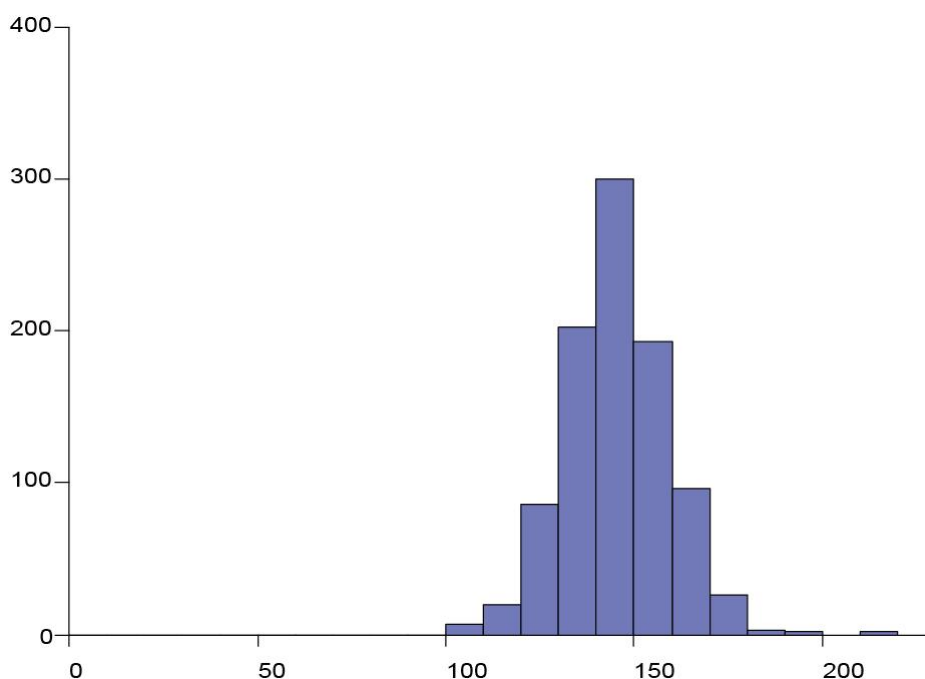
これまでと同様に事例問題が3点、知識問題が1点であるとする、今回のデータの概要は以下の通りとなる。

全体の得点概要

平均点	145.8点 (得点率 63.4%)
標準偏差	13.7
最大値	215点
最小値	104点

合格ラインが例年どおりであれば、230点満点で138点以上が合格と想定されている。これを基準にすると938件中690件(73.6%)が合格となる。

ただし、解答入力フォームに入力した人は、試験に自信がある人、プロログスの受講生、情報収集能力が高い、といったことが想定されるため、受験生全体からすると偏った母集団のデータと考えられ、実際の受検者全体の平均点はこれよりも下回ると想定される。

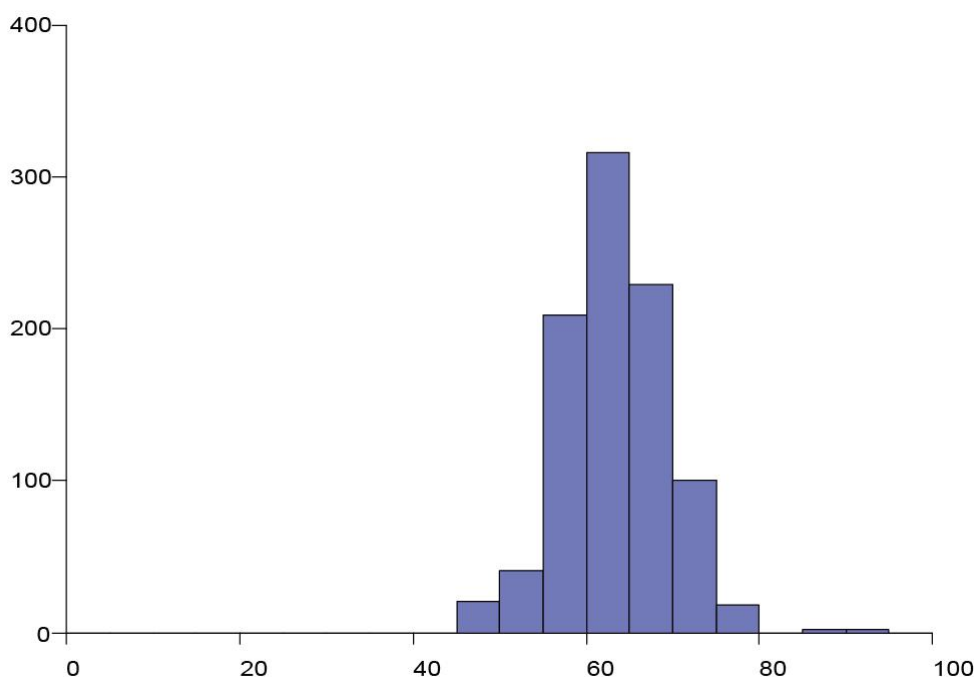


合計点についてももう少し詳しく得点率で見ると、今回の試験の目標を60%とするとそれなりに多くの人がクリアをしているが、70%以上を取ろうとするとかなり難しい問題であると考えられる。

今回の解答入力者は受験生全体よりも得点率の高い集団であることを加味して推測すると、80%取得するのがとても困難（今回のデータでは上位0.4%であり、実際には上位0.1%程度だと思われる）であり、70%取得（上位13.8%）は大きな目標としては目指せる範囲にはあることが分かる（個人的には資格試験なので合格さえすれば、それ以上のことに意味があるとはあまり思えないが）

また、残念ながら60%に届かない人も、多くは55%以上の得点率だった。今回のデータでは全回答者の93.6%が55%以上の得点をしており、たとえ合格しなかったとしても多くの人が「あと事例問題2問合っていれば合格ラインに達していた」と言える。

そう考えると、やはり知識も大事なことながら当日の体調や気合いなど、「最後のひと転がり」が合否の分かれ目になると考えられる。もちろん、当日の体調などに全てをかける訳はいかないので、あらかじめ体調が悪くても、気分が乗らなくても合格できるだけ知識を身に付けておくことが、当初の目標であることは間違いがない。



得点率のヒストグラム

取得得点比率

得点率	60%以上	65%以上	70%以上	75%以上	80%以上
人数	690人	351人	129人	22人	4人
割合	73.6%	37.4%	13.8%	2.3%	0.4%

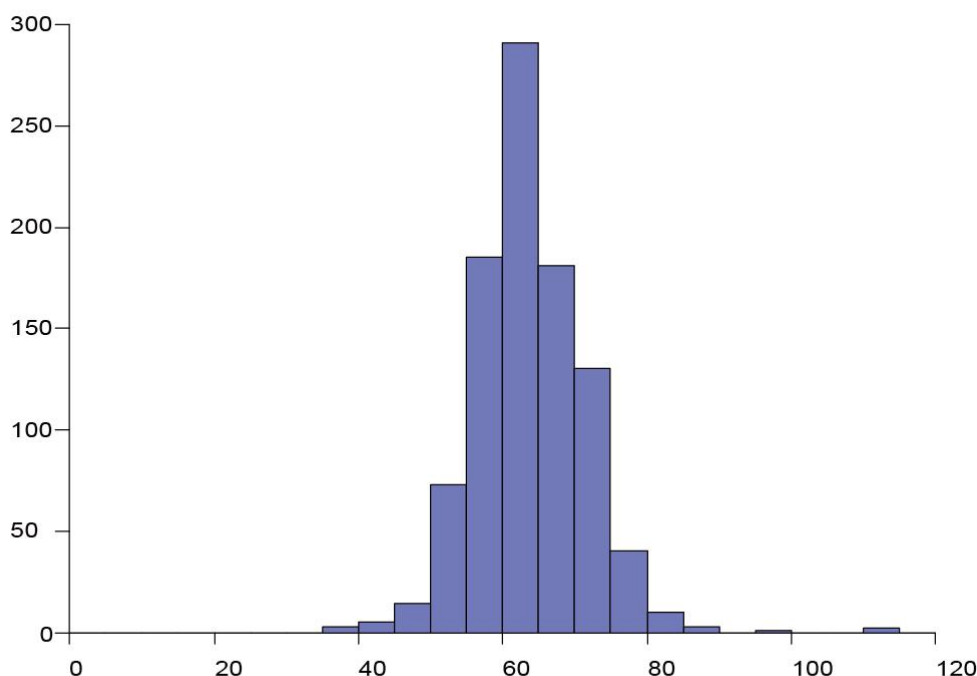
3. 知識問題の得点について

知識問題 116 問（116 点満点）の得点についてのデータ概要は以下のとおりである。

知識問題の結果概要

知識問題平均点	64.2 点（得点率 55.3%）
標準偏差	7.6
最大値	113 点
最小値	36 点

60%を基準値とすると、60%以上取れた回答者は 205 人（全体の 21.9%）だった。これを見ても、今回の問題は知識問題が難しかったことが分かる。後ろで考察する個別の問題でも、難しかった問題は多くが知識問題だった。



知識問題の点数のヒストグラム

4. 事例問題の得点について

事例問題 38 問（114 点満点）の得点についてのデータ概要は以下のとおりである。

事例問題の結果概要

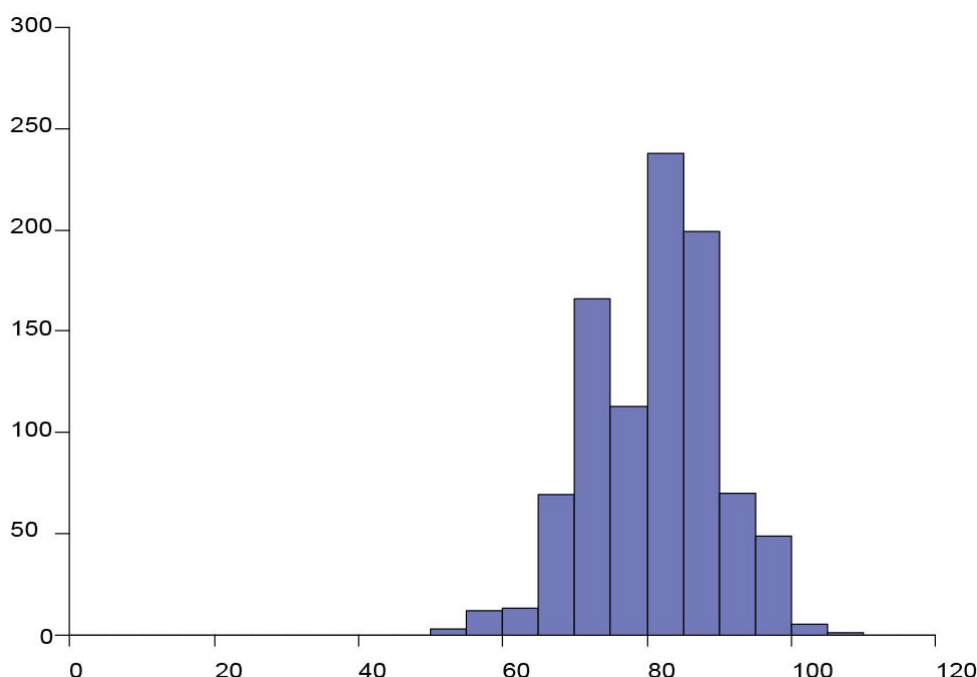
知識問題平均点	81.6 点（得点率 71.6%）
標準偏差	8.7
最大値	108 点
最小値	51 点

60%を基準値として、60%以上取れた人は 879 人（全体の 93.7%）であり、事例問題だけで

見ればほとんどの人が合格圏内にいたといえる。

また、事例問題の得点分布をみると山が2つあるため、もしかすると事例の「コツ」のようなものがある可能性があり、その「コツ」の有無で得点が変わっているという解釈もできるし、また純粹に統計的なバラつきでもあるとも考えられる。知識問題ではこのように山が2つ分かれなかったことと合わせると興味深い。

ちなみに、最大値のデータについては、知識問題と同じく非常に高い得点率で外れ値であり、実際の回答データではない可能性がある。



事例問題の点数のヒストグラム

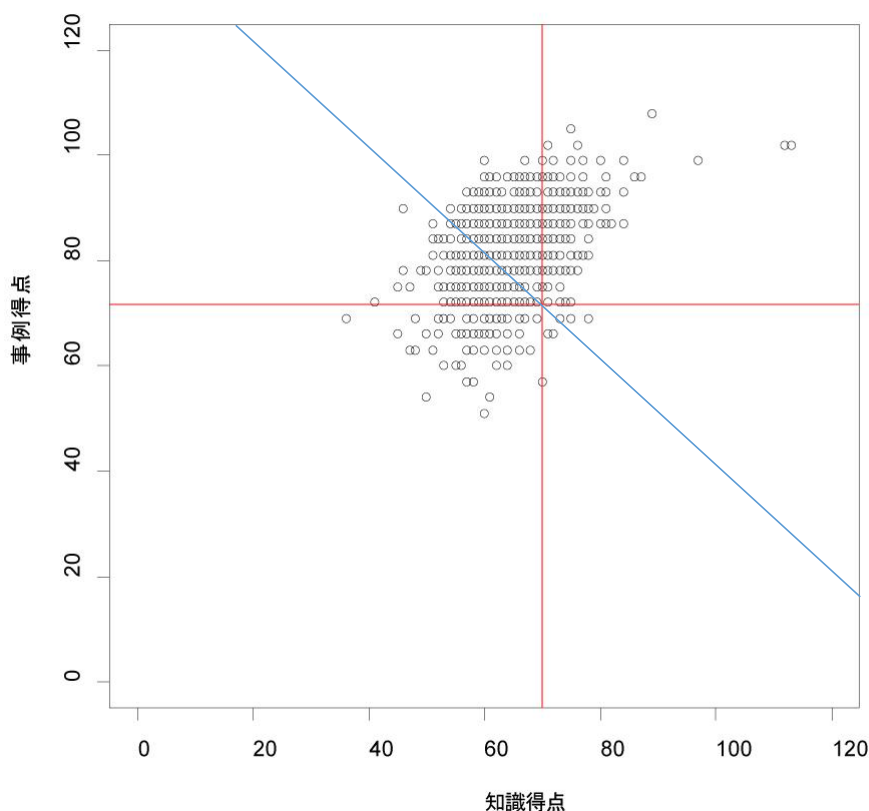
5. 知識問題と事例問題の得点率について

回答者の平均点データで見ると、事例問題の方が知識問題よりも約 15% 正答率が高かったが、これについてももう少し詳細に見ていく。

事例問題と知識問題の難易度が分かるグラフを下に記載する。これは回答者の事例問題と知識問題の得点散布図であり、縦軸に事例問題の得点を横軸に知識問題の得点をプロットした。

図中の赤線は事例、知識問題のそれぞれで、60% 得点した時のラインである。2つの赤線で区切った右上は知識問題・事例問題の双方とも 60% を超えたデータ、右下が知識問題は 60% を超えたが事例問題は 60% 越えなかったデータ、左上が事例問題は 60% を超えたが知識問題は 60% を越えなかったデータ、左下は知識問題・事例問題の両方とも 60% を越えなかったデータを示す。なお、水色の線は、およそこの線上よりも右上にある解答者が合格であることを示す。

この図を見ると、今回の試験では、知識問題でのロスを事例問題で取り返した人が多いことが分かる。



事例問題の点数と、知識問題の点数の散布図

6. 問題形式や難易度と正解率について

ここからは個々の問題の正解率について見てみる。まず、問題の正解率を問題形式ごとに示す。なお、ここでは得点での重みづけをしていないため、全体の正解率では60%を切っていることが分かる。

知識問題と事例問題の正答率については、先ほどの記載したように知識問題は正解率が低く、事例問題は正解率が高い。

また、今回の試験については、「以下のうち当てはまらないもの」や、「ーとして、不適切なもの」を選ぶといった不適切選択の問題の正答率が高かった。直感的には不適切選択問題はうっかりミスのある分、適切選択問題よりも正答率が低くなると想定されるが、今回の結果からそのような現象は見られなかった。ただし、今後も問題を解く上では、不適切問題かどうかのチェックは必要である。

問題種別ごとの正解率

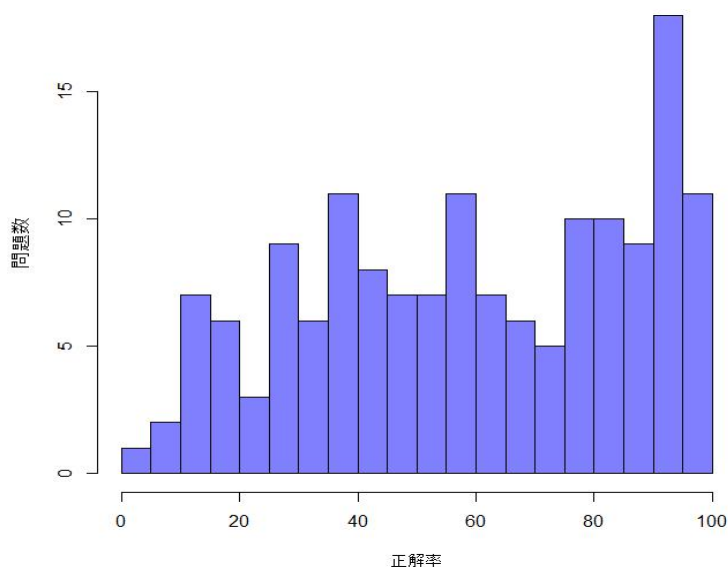
問題種別	正解率	問題数
全体	59.3%	154
知識問題	55.4%	116
事例問題	71.6%	38
適切選択問題	56.9%	114
不適切選択問題	66.2%	40

次にプロログスの講師が想定した問題ごとの難易度と、それぞれの正解率を出す。これはあくまでも講師の主観の難易度と問題の実際の難易度の差であり、それほど意味はないと考えている。なお、★は「基本的な知識だったり、過去問をやっていたら解ける問題」、★★は「応用的な問題やより深い知識が必要といったやや難しい問題」、★★★は「これは解けなくてよいという問題」としている。

想定難易度ごとの正解率

難易度	正解率	問題数
難易度★	76.2%	64
難易度★★	56.6%	43
難易度★★★	38.9%	47

次に問題ごとの正解率のヒストグラムを記載する。



正解率ごとの問題数

これを見ると、ほぼ取れる問題(80%以上の方が正解)が3割あるが、全体としては多くの問題の正解率は比較的ばらついて分布しており、ここからはそれほど傾向が読み取れない。ただし、5択のマークシートということもあり、10%よりも正解率が低いものはほぼなかった。

正解率ごとの問題数

正解率	問題数	割合
90%以上	29	18.8%
80%～90%まで	19	12.3%
70%～80%まで	15	9.7%
60%～70%まで	13	8.4%
50%～60%まで	18	11.7%
40%～50%まで	15	9.7%
30%～40%まで	17	11.0%
20%～30%まで	12	7.8%
10%～20%まで	13	8.4%
10%より低い	3	1.9%

また、公認心理師試験は基本的に5肢択1の問題であるが、一部4肢択1と5肢択2の問題が出ている。これらの正解率について知識問題と事例問題それぞれで見ていく。

知識問題の問題形式ごとの正解率

問題形式	正解率	問題数
5肢択1	56.7%	88
4肢択1	54.9%	13
5肢択2	47.7%	15

事例問題の問題形式ごとの正解率

問題形式	正解率	問題数
5肢択1	69.5%	26
4肢択1	71.2%	6
5肢択2	80.7%	6

この傾向を見ると、知識問題と事例問題ではそれぞれ傾向が逆になっている。

まず、直感的には、4肢択1 > 5肢択1 > 5肢択2 の順に正解率が高いことが予想されるかもしれない。

一方で、模擬試験などを作っていると、難易度調整のために4肢択1や5肢択2に修正することがある。また、事例問題では、5肢択2と言いながら、1つはほぼ自明な選択肢がある問題も多く、実質はその1つを除いた4つの選択肢から1つを選ぶといった問題もよくある。

個別の選択肢について検討をすることはここでは行わないが、今回の試験では5肢択2の問題は想像以上に簡単な問題が多かったと考えられる。

7. 個別の問題について

個別の問題について検討をするとキリがないので、ポイントとして想定よりも難しかった問題と、特に難しかった問題についてのみ挙げる。

なお、当初のプロログスで出していた解答速報の想定難易度は、勢いと主観で作っていたこともあり、見直すと「★にしてたけど★★が妥当だ」といった問題や、「ちゃんと理解して解くなら★

★★だけど、雰囲気を選んで解けるという意味では★だ」といった問題がある。そういったものについてはここでは検討しない。

想定よりも難しかった問題

問題番号	問題種別	想定難易度	正解率	分野
84	知識	★★	19.6%	8 学習及び言語
88	知識	★★	16.1%	22 精神疾患とその治療
97	知識	★★	16.5%	14 心理状態の観察及び結果の分析
137	事例	★	14.2%	14 心理状態の観察及び結果の分析

とても難しかった問題

問題番号	問題種別	想定難易度	正解率	分野
7	知識	★★★	9.1%	5 心理学における研究
13	知識	★★★	11.9%	10 脳・神経の働き
52	知識 択2	★★★	2.6%	22 精神疾患とその治療
103	知識	★★★	11.8%	21 人体の構造と機能及び疾病
106	知識	★★★	10.1%	21 人体の構造と機能及び疾病
135	知識 択2	★★★	10.7%	24 その他（心の健康教育に関する事項等）

問題の詳細についてはここでは記述しないが、想定よりも難しかった問題は、そこまでは勉強していなかった人や、問題の問われ方が難しかったものと考えられる、特に現任者（Gルート）の方だと分野によっては知らない問題と考えられる。

一方でここに挙げた問題は知識問題9問、事例問題1問の合計12点分（全体の約5%）であり、これらの問題は全く取れなくても十分に合格できる試験であると言える。

なお、個々の問題の分野を見ると、想定していたよりも正解率が低かった問題は査定に関わる問題で多く、全体として難しかった問題は医療分野が多かったという傾向が見られた。査定に関わる問題については、心理畑の人にとっては当たり前のことが、例えば教育や福祉系を中心に活躍されている方にとっては馴染みがないといったことがあったのではないかと考えられる。また、医療分野の問題について難しい問題が多かったのは、多くの受験生の感覚であったのではないと思われる。

8. まとめ

今回の分析によって、第3回の公認心理師試験は多くの方の実感の通りに「簡単な事例問題」と「難しめの知識問題」から構成されていることが分かった。また、問題ごとの正解率が意外とばらついているが、とても難しい問題自体はそこまで多くもなかったのではないかと考えられ、問題の難易度は少し上がっているかもしれないが、おそらく第2回よりも若干合格率が高くなっていると考えられる。

実際には第1, 2回のデータと比較しないと、他の試験との比較はできないが、それらについてはより詳細で大規模なデータを収集している団体や企業などが報告をしてくれるのではないかと期待する。

A. 付録 問題ごと正解率

	正解率(%)				
問 1	93.1	問 39	39.1	問 79	88.4
問 2	82.4	問 40	93.8	問 80	77.5
問 3	95.1	問 41	55.2	問 81	35.0
問 4	32.4	問 42	76.3	問 82	31.9
問 5	43.2	問 43	93.9	問 83	27.9
問 6	35.4	問 44	16.7	問 84	19.6
問 7	9.1	問 45	38.4	問 85	46.5
問 8	27.8	問 46	86.6	問 86	25.8
問 9	68.1	問 47	80.9	問 87	38.1
問 10	64.6	問 48	33.8	問 88	16.1
問 11	43.5	問 49	29.9	問 89	93.6
問 12	54.2	問 50	29.2	問 90	45.6
問 13	11.9	問 51	56.9	問 91	73.5
問 14	55.5	問 52	2.6	問 92	95.3
問 15	77.7	問 53	18.0	問 93	67.5
問 16	56.3	問 54	90.0	問 94	14.8
問 17	95.8	問 55	53.6	問 95	46.5
問 18	52.8	問 56	53.2	問 96	7.5
問 19	39.6	問 57	94.5	問 97	16.5
問 20	51.2	問 58	88.9	問 98	31.3
問 21	82.8	問 59	33.9	問 99	63.9
問 22	29.2	問 60	70.4	問 100	16.4
問 23	75.3	問 61	66.1	問 101	38.2
問 24	85.4	問 62	87.1	問 102	79.4
問 25	78.8	問 63	94.9	問 103	11.8
問 26	77.8	問 64	81.3	問 104	25.6
問 27	59.0	問 65	51.4	問 105	68.0
問 28	65.0	問 66	76.2	問 106	10.1
問 29	91.6	問 67	44.5	問 107	79.9
問 30	39.9	問 68	73.2	問 108	80.1
問 31	62.7	問 69	55.7	問 109	94.7
問 32	45.9	問 70	70.1	問 110	89.2
問 33	98.0	問 71	90.8	問 111	91.0
問 34	42.9	問 72	44.3	問 112	49.3
問 35	98.9	問 73	64.5	問 113	63.6
問 36	36.6	問 74	83.8	問 114	27.4
問 37	39.3	問 75	91.2	問 115	57.7
問 38	97.3	問 76	84.4	問 116	37.7
		問 77	81.2	問 117	97.5
		問 78	94.2	問 118	49.7

問 119	80.7
問 120	51.9
問 121	92.6
問 122	40.3
問 123	41.0
問 124	97.3
問 125	60.4
問 126	55.4
問 127	14.5
問 128	76.2
問 129	41.3
問 130	56.2
問 131	27.7
問 132	63.1
問 133	37.3
問 134	22.2
問 135	10.7
問 136	24.3
問 137	14.2
問 138	58.5
問 139	82.2
問 140	98.5
問 141	24.7
問 142	91.8
問 143	70.1
問 144	94.5
問 145	95.6
問 146	95.2
問 147	69.9
問 148	92.9
問 149	86.0
問 150	92.2
問 151	56.4
問 152	88.8
問 153	92.9
問 154	45.8

ます。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfhsjqfgtCkcI681U_nOQC7cc89TAm-Q2LXLp7Mvb9-1N_Yg/viewanalytics

※正解率はあくまでもプロログスの速報をベースにしています。

以下のリンクから元データを参照して、自分で計算でき